



## 日本国憲法 第九条の碑

大西洋に浮かぶスペインのカナリア諸島のグランカナリア島には、日本の憲法九条をスペイン語に訳した碑が建っている。

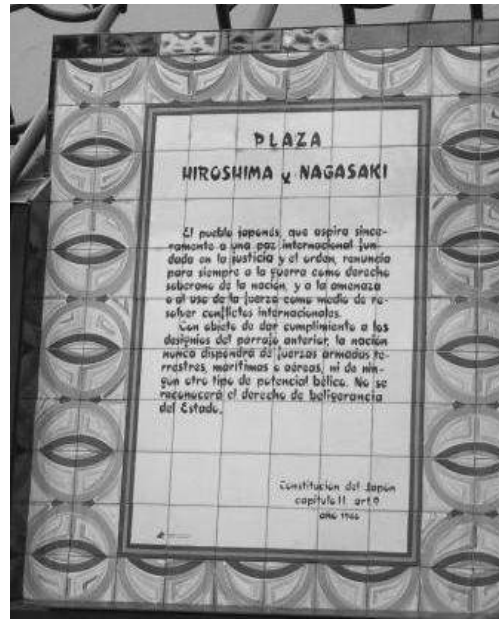
場所はこの島のテルデ市にある「ヒロシマ・ナガサキ広場」

タイル張りで高さ3m、幅2m。

テルデ市は北大西洋条約機構(NATO)加盟に異議をとねえ、市議会は非核地帯を宣言。非核と平和を求める市民のあいだで日本の憲法が話題となり、1996年、戦争犠牲者の追悼と平和の祈りを込めてつくったもの。

テルデ市は当時同市議会で非核宣言都市を決議・宣言し、その行動プランの一環として、広島・長崎広場を建設し、憲法九条の碑を同時に制作。1995年にラス

・パルマス総領事館では広島平和資料館の協力を得て、「広島・長崎原爆写真ポスター展」を開催し、非常に大きな反響があった。



# 九条を変えていいのか!! 今、世界は平和を求めている 「戦争をしない国・日本」の大切さ

カナリア諸島には今も「日本国憲法第9条の碑」が建っています(4面参照)。世界中が「日本は戦争をしない国」「憲法で戦争はしないと決めた国」であることを知っています。

“軍(戦うための集団・組織—広辞苑)”を作って、「戦争をする(かもしれない)国」にしてしまっていないのでしょうか。



成城地域「九条の会」

### 9条世界会議 (2008.5/4~6)

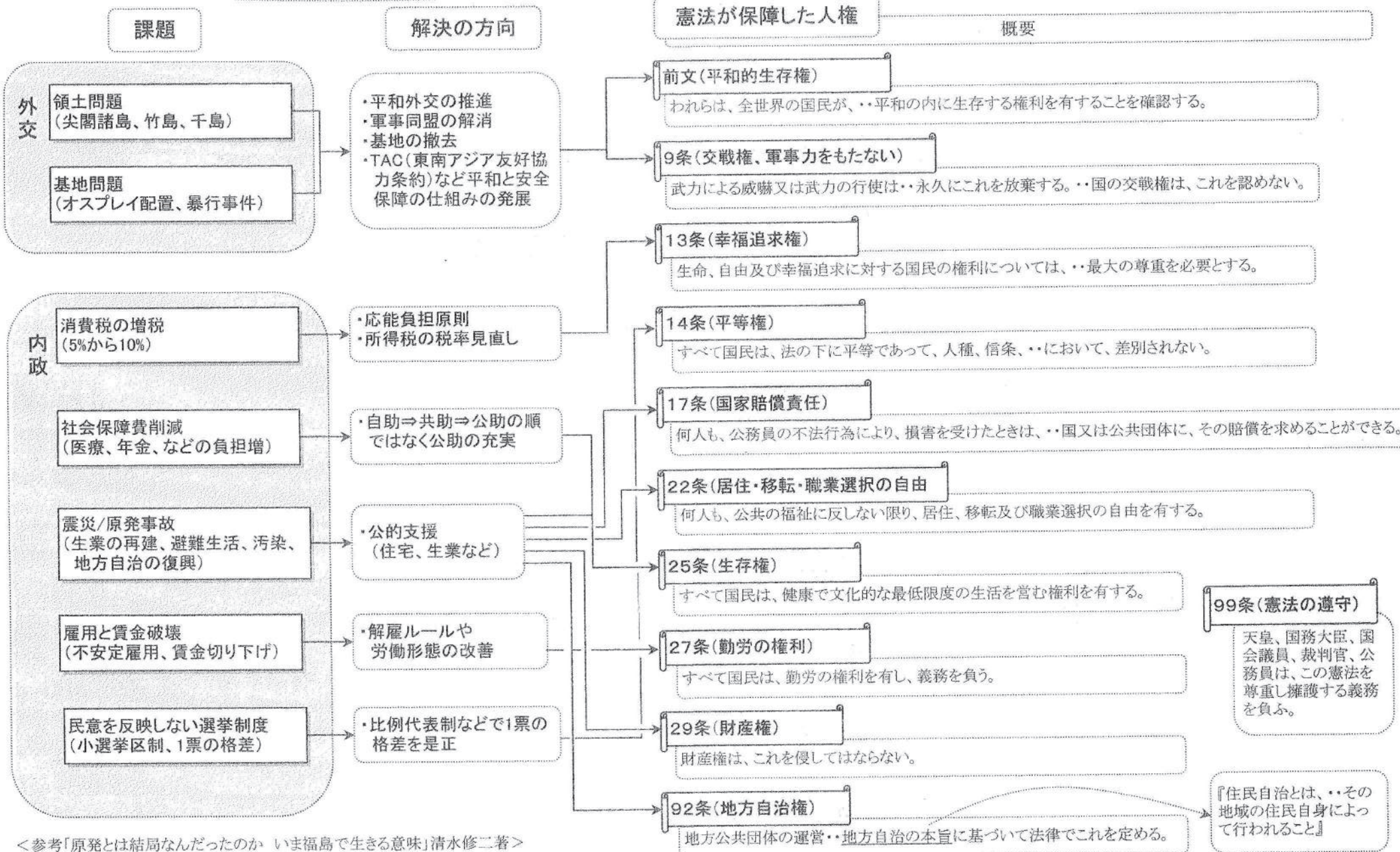
- すべての国の憲法が9条をもつべきです。今こそ戦争を廃絶するときです。(アメリカ平和活動家)
- 9条は、アジア太平洋に暮らす人々にとっての共有財産です。(フィリピン・NGO)
- 私の国は軍隊をなくしました。平和憲法は平和な社会を作り上げていくための手段です(コスタリカ) かつての侵略への反省から作られた日本の9条をなくすことに賛成できません。(韓国)

### バンクーバー世界平和フォーラム」(2006)

各国政府は日本の憲法9条のように、憲法により戦争を放棄すべきである。

日本国民のいのちと暮らしを守るために  
- 日本国憲法が保障した人権を取り戻す -

選挙で憲法改正を声高に叫ぶ勢力がありますが、  
今の憲法を変える必要がありますか



99条(憲法の遵守)  
天皇、国務大臣、国会議員、裁判官、公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

『住民自治とは、その地域の住民自身によって行われること』

<参考「原発とは結局なんだったのか いま福島で生きる意味」清水修二著>